

平成 15 年 11 月 17 日

JSAF 理事会御中

JSAF 国際委員会
委員 柴沼克己
(ISAF 国際審判員小委員会)

スペイン・バルセロナ市にて開催されました 2003 年 ISAF11 月年次会議に出席しましたので以下の通り報告いたします。

記

- 1、 日程等
11 月 7 日 (金) 09 : 00 出発 ~ 12 日 (水) 20 : 30 帰国
(往・復路 / JAL) 名古屋 成田 アムステルダム バルセロナ
- 2、 関係委員会
(1) 国際審判員小委員会 (International Judges Sub-Committee / 以下「IJSC」)
... 会議出席 8 日 14 : 30 ~ 18 : 00、9 日 10 : 00 ~ 18 : 00
会議内容は別紙 (1) 参照
(2) 競技規則委員会 (Racing Rules Committee / 以下「RRC」)
... 会議傍聴 10 日 10 : 00 ~ 18 : 00 大谷たかを委員も傍聴
会議内容は別紙 (2) 参照
(3) 公認競技役員委員会 (Race Officials Committee / 以下「ROC」)
... 会議傍聴 11 日 10 : 00 ~ 13 : 00 (会議は 17 : 00 までの予定 / 途中帰国のため退席)
会議内容は別紙 (3) 参照
- 3、 特記事項
参加した各会議にて審議され承認、支持、勧告、却下等とされた各提案事項 (Submissions 以下「提案」) 並びに議題、付帯意見等は、その後 (13 ~ 16 日) に開催される Councils (評議員) 会議にて論議され正式決定 (次回会議へ持ち越しされる案件、或いは作業部会 (以下「WP」) へ委ねられる案件等を含む) となります。競技規則 (以下「RRS」) を除き、施行日に関して特に付帯決議がされない限り、即日施行となります。(但し、今回の提案でこれを 1 ヶ月後とするものもありました。)
- 4、 旅費等
(1) 旅費 119,146 円
1) 航空運賃 (JAL / 名古屋 ~ バルセロナ往復) 114,400 円
2) 自宅 (柏森駅) ~ 名古屋空港 (往復 / 名鉄電車 + バス) 1,340 円
3) 空港 ~ ホテル / 会議場 (往路 / タクシー : 17.4 ユーロ、
復路 / バス : 3.6 ユーロ 計 21 ユーロ) 2,689 円
4) ホテル ~ 会議場 (地下鉄 / 4 日間、5.6 ユーロ) 717 円
* ユーロは 13 日のレート 128.07 円 / ユーロにて換算
(2) 宿泊費 58,000 円 (4 泊) Hotel ABBA SANTS

5、 その他

- (1) 日本を含む北東アジア地区である Group「J」から選出されている評議員 (Council) の一人である韓国の Heebum Kwon 氏 (もう一人は日本からの穂積氏) が病気のため、 Jang-Yeong Moong 氏 (釜山ヨット協会副会長・韓国ヨット協会理事、 ISAF・Regional Games Committee メンバー) が代理として Councils 会議に出席します。
- (2) 2005 年 7 月に韓国・釜山市で開催される ISAF ユース・ワールドのプレゼンテーションが釜山ヨット協会や釜山市の担当者等 (計 5 名) が参加の上行なわれました。また、釜山市は 2007 年に開催される ISAF・ワールド開催に意欲的で立候補する方向で検討中との事でした。(情報によれば 7 カ国が立候補を検討中とのこと)
- (3) 中国のヨット協会関係者の話として、明年 1 月にインドのムンバイで開催されるアジア・セーリング連盟の会議にて、次回アジア大会 (ドバイ) にて使用する艇種が論議されるが、「まずオリンピック種目の艇種を優先して採用されるようにしたら如何か」との非公式の話がありました。

以上

(写し送付)

松田健次郎 専務理事
昇隆夫 競技担当・常務理事
国際委員会正副委員長並びに委員
名方俊介 レース委員長
川北達也 ルール委員長
武村洋一 事務局長

(別紙 1)

IJSC (International Judges Sub-Committee) の会議内容(議題)

- 1、前回会議(2002年)議事録の確認等 ... 特に意見もなく承認
- 2、IJ の新任・再任審査
 - (1) 新任申請は16名
 - (2) 再任申請
 - 1) 2年申請は28名
 - 2) 4年申請は60名
 - (3) 再任辞退は14名、他に返答なし1名、在任中の死去2名
 - * 新任については、本年から実施された「Reference Form (調査書)」(申請者について一緒にジュリーを勤めた委員長 (Chairman) からの意見書 / 3大会分) が重視されたが、意見が異なっている場合もあり審査に時間がかかったケースもあった。
 - * 再任については、海外の大会参加数、インターナショナル・ジュリーの経験数、主要な大会参加等が更新のポイント。
 - * 一旦資格が切れた後の申請は、新任か再任かで論議された (結果は新任であると確認された)
 - * 審査の結果、承認された申請者を ROC へ IJ として推薦した。(認定権は ROC にあります)
 - * 本年は日本からの新任申請はなく、再任申請が秋山福夫氏 (2年) と秋元和子氏 (4年) から提出されており、審査の結果問題なく承認された (ROC へ推薦された)
- 3、IJ 試験についての討議
 - (1) 現行の IJ 試験について論議した
 - (2) 2回目の IJ 試験問題の使用 (運用) について論議した
 - (3) 2003年実施の IJ 試験結果
 - 4回実施され、それぞれ次の通りでした。(合格者数 / 受講者数)
 - * 4月 オランダ (参加8カ国) 5 / 25
 - * 5月 エクアドル (参加6カ国) 1 / 15
 - * 6月 オーストラリア (参加2カ国) 8 / 22
 - * 6月 ニュージーランド (参加2カ国) 6 / 13本年11月下旬にタイでもう一回開催されます
- 4、IJ セミナーとクリニック
 - (1) 2003年に実施したものの反省と2004年以降の計画について検討された
 - * 2004年のセミナー計画 (IJ 育成のため / 英語で行なわれ、セミナー最終日に IJ 試験が実施される)
フランス (未定) カナダ (3月) アメリカ (2月) クロアチア (バルセロナ会議で決定する) 北ヨーロッパ (未定) の他、指導者についてセミナーが計画されている。また IJ に対し RRS42 の最新資料の提供が計画されている
 - * 2004年のクリニック計画 (NJ 育成のため / 開催国の言語で行なわれ IJ 試験は実施されない)
ドバイ (1月) ロシア (2月) 中国 (未定) キプロス (未定) 東南アジア (未定) 南アメリカ諸国でのクリニック・ツアーが計画されている
 - * 2005年のセミナー計画
フィンランド (4月) 新ルールで実施
 - * セミナー、クリニックとも開催を希望する各国からの申請に基づき行なわれる。講師の旅費のみ ISAF が負担し、その他の経費は開催国が負担する (原則として参加料で賄う)
 - (2) 教材について報告があった
 - * パワーポイントを利用したものが開発されている

(3) 必要経費と2003年の支出、2004年の予算について説明があった

5、IJ-Regatta 報告書

(1) 報告書の見直し

インターナショナル・ジュリー委員長(チェアマン)が提出する報告書(レガッタ・レポート)の内容について論議された

(2) 特異なケース ... 報告書が提出された

(3) 規則 42 についての意見

RRC の WP にて整理されている最中であるが、RRC の議題の中で RRC・WP の提案が報告され、論議された。

(4) インターネットを利用した報告制度 ... 特に論議はされなかった

(5) 報告書制度の活用

全ての項目についてもっとネガティブな意見も併せて報告するべきとの論議がされた。

6、国際大会におけるインターナショナル・レース・オフィサー(以下「IRO」)の任命

昨年11月 Councils 会議で決定されたように、オリンピック大会とオリンピック・クラスの世界・大陸選手権大会並びに ISAF の大会については、主催団体はプリンシプル・レース・オフィサー(PRO)、レース・オフィサー(RO)又はコース・レプレゼンタティブ(CR)については、IRO 資格者を任命しなければならない。(ISAF 規則 18.14)

(註)日本国内ではそれぞれ、レース委員長、(各レースエリアの)海上本部長、発着部長といったところでしょうか...(レース委員長に確認をいただければ幸いです)

7、大会における IJ の任命

IJ があるチームのコーチ等を行っている場合、そのチームが出場する大会にその IJ がインターナショナル・ジュリーのメンバーとして任命する場合の制限について論議された。

8、大会に IJ が同伴する者(配偶者等)に関する方策

IJ マニュアルにも記載してある通り、同伴者の関係費用は全てその IJ が負担する事になっている事を確認した。

9、IJ 管理 ... 特には論議されなかった

10、Race Officials の調査手続き

不品行があった、又はあったとして報告されたレース・オフィシャルズ(IJ、IU、IRO、IM)についての調査・調査機関中の資格一時停止・罰則をするための手続き(提案された関連文書を含む)について論議され、支持された。

11、IJ マニュアル

* RRS42 関連について記述変更について検討する

* 現在2名の WP を1名増やして3名とし、2005 改定 RRS に対応する事とした

12、年次 IJSC 会議の期間

1日では少ないので2日間とする事で検討された(昨年も今年も2日間を要した)

13、大会の中止に伴う関係費用の論議

既に立て替えて購入した航空券等に係る関係費用について論議された

14、RRC の議題

RRC 会議の議題にある昨年からの持ち越しの提案 30 件と、本年の提案 81 件、THE CASE BOOK の提案 8 件並びに THE CALL BOOK FOR MATCH RACING の提案 5 件

について論議した。この中で、RRC・WP から提案されている RRS42 案について説明があった。その他は特に論議されなかった

15、その他

RRS42 のオン・ザ・ウォーター・ジャッジングの一貫性の確保（質の統一）についての教育が重要である事が何度も強調された。

以上

(別紙-2)

競技規則委員会(Racing Rules Committee / RRC) の会議内容 (議題)

- 1、 前回会議(2002年)議事録の確認
- 2、 2000、2001、2002年11月会議から引き続き検討課題となっていた競技規則等の改定に関する据え置き提案30件の審議
- 3、 2003年に提案された競技規則等の改定に関する提案81件の審議
- 4、 THE CASE BOOKの提案8件の審議
- 5、 THE CALL BOOK FOR MATCH RACING 5件の審議
- 6、 RRCの会議について
RRC会議とRRC・WPの会議日程について
- 7、 セーリング装備規則について
名称変更を伴う提案、RRSとERSの関連に関する提案等、関係する提案された事項の審議
- 8、 RRS42のRRC・WPからの報告
昨年に提案されたRRS42関連の全提案並びに本年に提案された関係規則に関するRRC・WPからの説明とその審議
- 9、 簡易な英語の使用について
- 10、 年次報告書
- 11、 Councils会議への勧告
- 12、 未解決の事項
2005年ルールブック、ケースブック並びにコールブックの製作に関するRRC・WPの報告についての検討

以上

(別紙-3)

公認競技役員委員会 (Race Officials Committee / ROC) の会議内容 (議題)

- 1、 前回国議(2002年)議事録の確認
- 2、 公認競技役員 (Race Officials) 小委員会からの報告
 - (1) 国際計測員小委員会 (International Measurers Sub-Committee)
 - (2) レース・マネジメント小委員会 (Race Management Sub-Committee)
 - (3) 国際審判員小委員会 (International Judges Sub-Committee)
 - (4) 国際アンパイア小委員会 (International Umpires Sub-Committee)
- 3、 公認競技役員委員会の予算について
- 4、 ISAF 公認競技役員セミナーとクリニックについて
- 5、 各大会の公認競技役員の任命について
任命に関する基準等についての提案についての審議
- 6、 公認競技役員の役割の変更について
- 7、 規則 42 推進方法について
 - * 規則 42 に関する教育プログラムについて
 - * 規則 42 に関して昨年提案された事項についての Councils 会議への勧告について
- 8、 Race Officials の調査手続きについて
- 9、 公認競技役員のインターネットを利用した報告制度
- 10、 競技規則委員会の議題について
- 11、 勧告
- 12、 その他の事項
- 13、 公認競技役員の認定並びに大会公認競技役員の任命
各小委員会からの推薦に基づき、各公認競技役員 (IM、IRO、IJ、IU) の認定と各種
主要大会の公認競技役員の任命について審議し決定する。... 非公開にて行なわれる

以上